

NPO法人 京都 DARC

Drug Addiction Rehabilitation Center

14周年記念フォーラム

もう、二度としません! ～ 原点回帰 ～

プログラム

受付時間 13:00～

Program 13:30～17:30

薬物依存症者たちの話
家族の話

18:00～19:30
フォーラム祝賀会

講演

近藤 恒夫 氏

(NPO法人 APARI 理事長・日本 DARC 代表)

10月21日(土)

ところ

※入場無料

ひと・まち交流館京都

<https://www.facebook.com/kyotodarc/>

京都 DARC の Facebook



- 主催 特定非営利活動法人 京都 DARC
 後援 京都府 京都市 京都市教育委員会
 京都弁護士会 自由人権協会京都
 京都精神神経科診療所協会
 京都精神保健福祉士協会
 京都新聞社会福祉事業団
 京都社会福祉士会

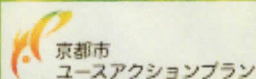
<交通ごあんない>

京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル梅津町 83-1



- 京都駅から市バス17・205系統「河原町正面」下車すぐ
- 京阪電車「清水五条」駅から徒歩8分
- 京都市地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩10分

※有料駐車場はございますが、当日は混雑が予想されるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ ▶ NPO法人 京都DARC : 075-645-7105



京都DARCとは

京都DARC(ダルク)は薬物依存症から回復したいと望む人の手助けをすることを第一の目的として、2003年に開設されました。当事者が当事者を支援するという「セルフ・ヘルプ」の理念を大切にしながら、回復のためのさまざまな環境作りをしています。

薬物依存症はその性質上、複雑に絡み合った問題を内包し、当事者だけでは解決できない問題が数多くあります。京都DARCでは家族・司法・教育・医療・福祉など多方面からのサポートを受けて問題解決に取り組む一方、当事者支援活動の先鋒として各機関に対するさまざまな働きかけを行っています。

薬物依存症からの“確かな回復の道”をともに考えていける社会。京都DARCはその役割の一端を当事者とともに担っています。

14周年を迎えて

講師紹介

近藤 恒夫さんプロフィール

1941年生まれ 秋田県出身
日本ダルク本部代表
特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション
研究所理事
医療法人社団 アパクリニック 常務理事
日本カトリック依存症者のための委員会(JCCA) 委員
1985年、東京都荒川区に薬物依存症者の社会復帰を
支援する「ダルク」を設立する。現在、78箇所の関連
施設が全国各地で運営されており、「薬物依存症者の回
復の権利」を求めて歩き続けている。



- 1994年 第9回東京弁護士会人権賞受賞
- 2001年 第35回吉川英治文化賞受賞
- 2006年 矯正局東京地区長賞
- 2013年 第4回作田町記念財団顕彰賞受賞

理士の監修 理士の動科学研究所 薬物依存症研究
法務省矯正局「薬物刑罰防止プログラム」委員会
法務省矯正研究所東京支所 講師
警察庁 再犯用・再犯防止支援(執行前手者に対する回復支援)プログラム
韓国・麻薬連 日本地区スーパーバイザー
JICA(国際協力機構) 途の継続者協力事業プロジェクト・マネージャー
名古屋大学 矯正・更生センター 嘱託研究員
著書「薬物依存を越えて」海拓舎(2000)
「刑罰所のタンポポ」双葉社(2010)
「ニッポンの(薬物)依存」ティフ・スペクター共著 生活文化出版(2010)
「ほんとうのドラッグ」講談社(2012)

現在、各刑務所において常駐監教員(再犯防止)に講師として専従。

いつも京都DARCを支えて下さっているみなさま、ありがとうございます。

おかげさまで無事14周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

「ほんとにクスリやめれるもんなん？」

「クスリをやめ続けている人がいるのは知ってるけど、失敗をくり返す自分はダメや・・・」

なんとかしたいと思っても、きっかけがない。抜け出そうと自分なりにやってみただけどうまくいかず、どうせ自分は・・・とあきらめかけている。そういう人が、実は、少なくないように思います。もしかしたら、あなたやあなたの大切な人も、そういう気持ちになっているのかも知れません。

今、薬物の問題から回復に向けて歩み続けている人たちも、かつては、今のあなたと同じように、一人で悩み、回復をあきらめかけていた人たちのです。あきらめかけていた人が、安心して相談できる場所と同じように薬物の問題をなんとかしたいと願う仲間との出会いを通して、1日ずつ薬物を使わない日々を歩き続けています。

ここ京都DARCは、薬物の問題からの回復を願う仲間と出会う場所、回復の可能性を実感できる場所となるよう、活動を続けています。

今回のフォーラムで、薬物の問題からの回復をめざす仲間と心を通わせていただき、あなたの心に回復への希望のメッセージとして届きますよう、みなさまのお越しを、一同心よりお待ち申し上げます。

NPO法人京都DARC 事務局長 廣兼 美翰

